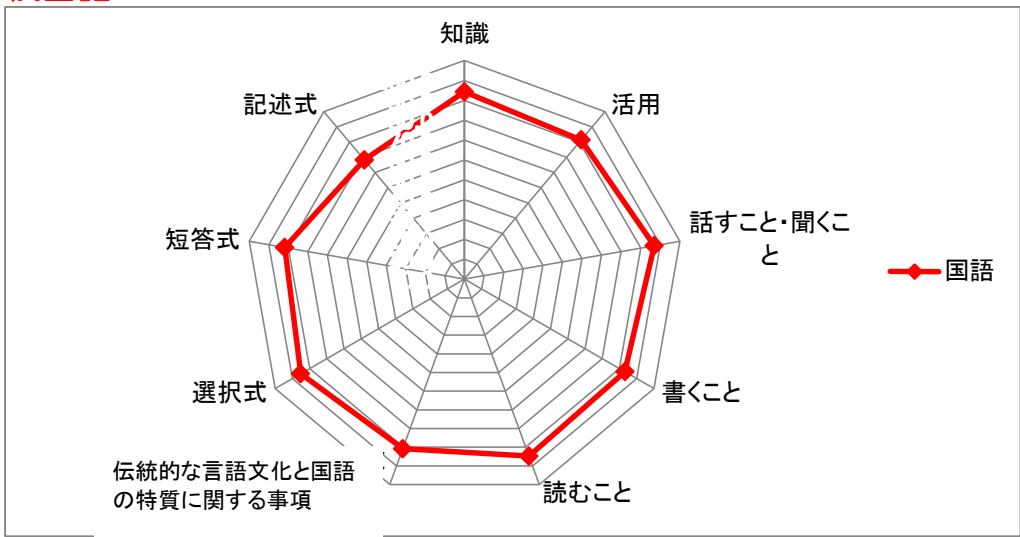


下のグラフは、本校の各教科の点数を「問題A」、「問題B」、「領域」、「問題形式」の4分野に分けてグラフにしたものです。全9項目の数値を平均したとき、よくできていた部分と不十分な部分がすぐにわかるようにしました。グラフ点が外側にあるほど「よくできていた部分」、「強い部分」で、逆に内側ほど「不十分な部分」、「弱い」ところであるといえます。これにより、本校での国語・数学において、どの部分が優れており、どの部分が改善を必要とするのか一目でわかります。

- ・国語では、「活用(B学力)」より「知識(A学力)」の方が上回っている。
- ・国語では、「話すこと・聞くこと」に優れており、「選択式」の問題で力を発揮している。
- ・数学では、「関数」と「記述式」が劣り、「短答式」の問題でも力を発揮できていない。
- ・数学では、「知識(A学力)」より「活用(B学力)」の方が上回っている。
- ・数学では、「選択式」の問題で力を発揮できているが、「記述式」では力を発揮できてない。
- ・数学では、「資料の活用」が、やや劣っている。

中学校国語



中学校数学

